



きたなごやし

男女共同参画情報紙

Vol.22
2017.2



目次

- P2~3 男女共同参画のあゆみ
P4 市民協働推進補助事業
「父子手帳」



ザ・オヤジシンガーズ



北名古屋麺友会



蕎麦打ち倶楽部

3/5

第5回「とらいあんぐるフェスタ～ひと、輝く～」

男女共同参画連絡会参加団体の紹介や、各団体による催し、物産展、クイズラリーなど、盛りだくさんのイベントです！

小ホールではバルセロナ五輪女子柔道52kg級銀メダリストの溝口紀子先生による講演会。

大ホールでは、コンサートやペーパーサポート劇、ベストセラー実話エッセイを映画化した「はなちゃんのみぞ汁」（主演：広末涼子）を上映します。

とき 3月5日（日）9:30～16:00

ところ 北名古屋市文化労働会館

東庁舎・西春駅・フェスタ会場間に無料シャトルバス運行

《館内》
各団体パネル展示 9:30～16:00
各団体イベント 9:30～13:00

《小ホール》
溝口紀子先生講演会 10:00～12:00
「やわらの術と道」
～柔道史から男女共同参画のみちを考える～

《大ホール》

コンサート（ザ・オヤジシンガーズ） 12:50～13:20
ペーパーサポート劇（北名古屋市女性の会） 13:20～13:50
映画「はなちゃんのみぞ汁」上映 14:00～16:00

入場無料

無料託児あり
(事前申込必要)



問合せ：市民活動推進課

（22）1111



市民協働推進補助事業「父子手帳」

ママが母子手帳なら、パパは父子手帳

「パパも育児を楽しんじゃおう」と、北名古屋市発の「父子手帳」作りに取り組んでいます。

昨年は陽だまりハウスで、お父さんと子育てを考える集いを開き、ジャーナリストで、NPO法人グリーンパパプロジェクト代表の吉田大樹さんに講演していただきました。ご自身の経験とともに、「和気あいあいと緩やかに北名古屋らしい活動を」と話されました。

パパたちからは、「子どもたちの結婚式のために、節目となる日の写真を貼れるページがあれば」「活字が多いと読む気がしないので、マンガをいれてもいいんじゃない」など、さまざまな意見が飛び交い、なかなか面白そうな「手帳」になりました。

男性目線で作り上げる「父子手帳」は、パパたちの目に留まり、「イクメン」が増えるかなとの期待を込め、4月までに1000部を作成する予定です。
(NPO法人 次世代健全育成サポートあひるっこ)



ひとりで悩まず、相談しよう！

● 北名古屋市役所 市民活動推進課

（0568-22-1111（代）

男女共同参画を阻害する権利侵害について、
相談委員が相談および処理・助言にあたります。

対象：市内在住・在勤・在学の方（予約制）
相談委員：中内 良枝氏（弁護士）、三枝 優氏（大学教授）

● 愛知県西枇杷島警察署

（052-501-0110（代）

● 甘性の人権ホットライン

（0570-070-810

受付時間：月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

● 愛知県甘性相談センター（ウィルあいち内）

○甘性悩みごと電話相談専用ダイヤル

（052-962-2527

女性相談員がお聴きし、一緒に考えます。
相談時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後9時
土曜日・日曜日 午前9時～午後4時（祝日、年末年始は休み）

● DV専門電話相談専用ダイヤル

（052-962-2528

実施時間：月曜日 午後2時～午後3時30分（祝日、年末年始は休み）
(第1・3・5月曜日は女性弁護士が対応します)

● DV相談ナビ（内閣府）

（0570-0-55210（自動音声による案内）

編集 さんか・クラブ

イラスト えりちゃん

発行 北名古屋市総務部

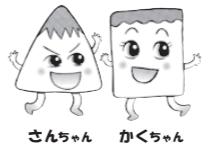
市民活動推進課 西庁舎2階

電話 0568-22-1111

FAX 0568-25-0611

Eメール katudo@city.kitanagoya.lg.jp

ホームページ <http://www.city.kitanagoya.lg.jp/>



さんちゃん かくちゃん

平成29（2017）年2月発行

編集後記

今、都知事はじめ女性の政治家が活躍しています。

一昨年のデータでは、愛知県議会に占める女性議員の割合は7.8%、
全国平均は9.8%で愛知県は27位。市議会の女性議員の割合は北名古屋市が28.57%で県内第1位。誇れる数字です。

しかし！人口が男女ほぼ半々で構成されているということを考えれば、議員も性別均等が望ましいところ。女性の声を反映するために、世界の約100か国がクオータ制を導入しているとか。

新聞のコラムに「政治に興味を持つことは自分の将来を考えること」とありました。政策決定の場にもっと女性が参画すること期待したいと思います。

リフォーム・新增改築

リノベーション

キッチン・バス・トイレ・耐震診断・改修・古民家再生

この街で信頼と実績、

35年……

貴方の価値観を尊重し

劇的改造を提案！



志賀 勝則

Profile

代表取締役

一級建築士

愛知県耐震診断員

なごや歴まちびと

有限会社 アートホーム

TEL 0568-23-8855 携帯 090-7022-8306 URL www.art-home.co.jp

人と水のコミュニケーション

私たちの生活の中では

なくてはならない水との関係

人と水との対話を大切に

豊かな『水生活』を

エンジョイしていただきたい

日出化成の原点です



HINODE KASEI CO.,LTD.

〒481-0014 北名古屋市井瀬木高畠83-1 TEL 0568(22)3150



「ひとりごと…」 - 50代男性編 -

「女性の活躍はここにも？！」

近頃、女性の活躍がめざましい。山ガール（登山好きな女性）・カープ女子（プロ野球広島カープファン）・歴女（歴史好き）・鉄女（鉄道ファン）・スー女（相撲好き）などなど。また、焼肉のホルモンが好きな女性が増えているそうだ。ホルモニストとよばれている。しかも、女一人焼肉店で食べるのも平気なのだ。オイラ、ひとりでは焼肉店には入れません。お店に入るなりイヤな顔をされます。4人掛けテーブルに1人は迷惑かもね。起業を目指す女性の皆さん、ここら辺にビジネスチャンスが有りそうですゾ！

（オドオドおやじ）

【孫育てばあば】

最近は、小中学校のさまざまな行事に父親の参加がとても多くなってきていますね。うれしいことです。子どもは父親と母親のかけがえのない宝であり、子育てもまた2人の責任であるという意識が浸透してきたからだと思います。

そうした親のもとで育つ子どもたちが、性別に関わりなく「自分」の生き方を見つけてくれるといいと思います。

【70代男性ボランティア】

退職後、ヘルパー2級を取得して15年前に高齢者福祉を支援するボランティアグループに入会しました。ボランティア自体がよくわからない状態で、グループの会長になり、その後は、ボランティア連絡協議会の初代会長を務めました。入会当初は男性ボランティアは珍しく希少価値でした。男女共同参画の遅れを感じたものです。

あれから15年、定年退職後の生きがいにもつながる男性ボランティアが増えてきています。私も、まだまだ必要とされていると感じながら活動を続けています。

中学校の職場体験がきっかけで幼稚園の先生になったという男性は、女性の職場と思われていた仕事への挑戦です。固定観念に捉われず自分で自分の生き方を見つけました。女性の起業家も増加していて、仕事と家庭を両立させ奮闘する女性の逞しさを感じます。

家事、子育ては女性の仕事という昔の話。母親と父親が協力し合い共に子育てに携わることが多くなりました。その姿は微笑ましく、子どもの豊かな心を育みます。また、年齢を重ねて新しい生きがいを見つけ地域貢献している人たちは充実感にあふれています。

「男だから」「女だから」はもう古い考え方では？「ひとりの人間として自分らしく生きる」「個人の尊厳を大切にする」「性別に関わりなく多様な働き方を選択する」「老若男女が進んで社会参加する」…。人々の意識は着実に向上してきています。

男女共同参画のあゆみ

北名古屋市は、市制施行10周年！では男女共同参画のこの10年の歩みは？仕事、家庭、子育て、生きがい、どんなふうに変わってきたのでしょうか。また、変わっていないこともあるのでしょうか。今回は、さまざまな人たちからさまざまな思いを聞いてきました。男女共同参画社会を築くヒントがあるかもしれません。



【公立幼稚園男性教諭】

幼稚園の先生1年生。年長クラス30人の担任を持っています。朝は8時前に登園し、子どもたちを迎える毎日です。

子どもと関わることを職業にしようと思ったきっかけは、中学生の時に行った保育実習でした。「楽しいな」と。でも正直、本当に自分にできるのか、高校、大学と過ごす中で悩んだことも。

今は業務に追われる日々ですが、まずは経験を積んで自分なりの保育を考えられるようになりたいと思います。一新人教諭として大事に育てていただいていると感じています。



【20代1児のママ】



「手に職を」と、音楽療法士・リトミック指導者の道を選び、大学卒業後、フリーランスで仕事をしてきました。

結婚、出産を機に地元で教室を開き、拠点を持って活動しようと準備をしています。仕事の選択や時間のやりくりなど、自分なりの働き方ができる、育ててもらった地域とそこに住む人々に恩返しがしたいことがその理由です。

進む道を教えていただいた恩師に、仕事についても子育てについても的確なアドバイスをいただけることが支えになっています。

【元おやじの会会長】

小中学校の「おやじの会」は、まだ「イクメン」という言葉もない10年前、行政の後押しもあって全国各地に誕生しました。

父親同士がつながることにより、学校教育を理解して、学校行事に参加しやすい環境づくりに大きく貢献しています。

入学式や卒業式、授業参観などに参加する父親と母親の割合はほぼ同じですが、PTA運営の役員や実行委員には母親が多く、おやじの参加はごく少数です。「おやじの会」の活動は地域差がありますが、参加割合は全体として発足当初とあまり変わらないようです。最近はメンバー間での連絡方法としてLINEやfacebookなどを活用していると聞きます。



おやじたちの意識はゆっくりですが時代の流れに乗って変わっています。